

# 機能性食品研究で連携

岐阜薬科大（岐阜市大学西）

は、県内で19の薬局を展開するユニバーサルコーポレーション（同市長良東）の寄付講座を設置した。農産品の機能性成分を明らかにし、同社が農産品を活用した機能性食品の開発や6次産業化などを目指す。

同大と同社はこれまでも共同研究に取り組んできたが、さらに機能性食品についても連携して研究を進める。講座では、同大の高い測定技術や食品の機能性評価のノウハウを生かし、農産品の新たな付加価値を明らかにして健康寿命延伸に寄与する食品の開発につなげる。同大の北市清幸教授、横井毅特任教

## 岐阜薬科大とユニバーサルコーポ

授らが担当する。

講座ではヒュウガナツの実や皮などさまざまな部分の成分について研究し、同社がノンアルコールビールなど独自性のある機能性食品を手がける予定。

同大で会見した柏木宏仁社長は「本格的に機能性を追究し、今までにないものを幅広く作りたい。今後は県産農産物も研究したい」、原英彰学長は「食品の分野で機能性を見つけることで役に立てればうれしく思う」と語った。北市教授と横井特任教授は、機能性食品による健康被害の問題に触れ、薬学の知見

寄付講座 農産品活用、ノンアルコールなど開発へ



寄付講座を設置したユニバーサルコーポレーションの柏木宏仁社長（中央）と原英彰学長（右から2人目）＝岐阜市大学西、岐阜薬科大

を生かした安全性を追究する考えを示した。（小田香緒里）